

平成 29 年度 白鷹町 青少年国際交流事業

文化の異なる海外で学習する機会を設けることにより、次代を担う「グローバルな人材」を育むことを目的に実施している「白鷹町青少年国際交流事業」。3回目を迎えた今年度も、白鷹中学校3年生8人と荒砥高校2年生4人が白鷹町から世界に目を向け、町内の中高生を代表し海外短期留学を行いました。

研修生たちは、渡豪の前に英会話と海外の文化についての学習や、あらためて白鷹町を知るための事前研修を実施。その後、11月6日～11日の日程でオーストラリアのケアンズへ渡りました。

現地では、「Cairns State High School」（ケアンズ州立校）の学生たちとの交流学习や2泊3日のホームステイ、世界遺産の見学などを通して、これまで経験したことのない異文化へ果敢に挑戦。白鷹町との違いを肌で感じながら、あらためて「目を世界に、心ふるさと」の意味について考えました。

そして、オーストラリアから帰国した研修生たちは、事後研修会を経て研修の成果を振り返りました。昨年、一昨年と先輩研修生の報告を聞き、大きな期待を胸に海を渡った今年度の研修生たちは、今度は自分自身が研修で得たモノや感じたコトを伝える立場となり、堂々とした表情で町長や町の教育関係者の前に立ちました。

世界に目を向けた12人の子どもたちは、研修を通してどのような「変化」を感じたのでしょうか。そして、自分自身の「変化」を通して見えてきたものとは――。

よう lukim yu 안녕하세요

Cairns
airport

Connecting the world with the
Great Barrier Reef

Change my world

～世界を見た先に～



～目を世界に、心ふるさと～

白鷹町青少年国際交流事業